

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-530870(P2004-530870A)

【公表日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2004-039

【出願番号】特願2002-572429(P2002-572429)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 R 1/067

G 0 1 R 31/28

【F I】

G 0 1 R 1/067 C

G 0 1 R 31/28 K

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月10日(2004.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

接地スプリングプローブ(58)を信号プローブコネクタ(60)の接地シールド(64)に電気的に接続する接地装置であって、

信号プローブコネクタ(60)の接地シールド(64)と電気的に接触し、非線形穴(80、80'、80"、82、82'、82")が内部を貫通する、導電性の接地要素(52、56)と、

該接地要素(52、56)の該非線形穴(80、80'、80"、82、82'、82")に挿入される直線状の導電性の接地スプリングプローブ(58)であり、該接地要素(52、56)と電気的に接触し、該非線形穴(80、80'、80"、82、82'、82")内で弾力的に変形されることにより、該接地スプリングプローブ(58)を該非線形穴(80、80'、80"、82、82'、82")内に保持するために十分な、該接地要素(52、56)と該接地スプリングプローブ(58)との間のスプリング力をもたらす、接地スプリングプローブ(58)と、

を具備する接地装置。

【請求項2】

複数の接地要素(52、56)をさらに具備し、該複数の接地要素(52、56)の各々が、関連する接地プローブ(58)を信号プローブコネクタ(60)の関連する接地シールド(64)と電気的に接続し、該接地要素(52、56)の各々が、その関連する接地プローブ(58)を弾力的に変形することにより、該接地要素(52、56)と該関連する接地プローブ(58)との間のスプリング力を維持する請求項1記載の接地装置。

【請求項3】

第2接地スプリングプローブ(58)をさらに具備し、該第2接地スプリングプローブ(58)が、前記接地要素(52、56)によって弾力的に変形されることにより、該接地要素(52、56)と該第2接地スプリングプローブ(58)との間のスプリング力を維持する請求項1記載の接地装置。

【請求項4】

ハウジングにスプリングプローブ(58)を保持する方法であって、

該ハウジング内に、導電性の接地要素（52、56）を提供する工程と、該接地要素（52、56）が、内部に延在する非線形穴（80、80'、80''、82、82'、82''）を有する工程と、スプリングプローブ（58）を該非線形穴（80、80'、80''、82、82'、82''）に挿入し、該スプリングプローブ（58）が、該接地要素（52、56）の該非線形穴（80、80'、80''、82、82'、82''）によって弾力的に変形されることにより、該接地要素（52、56）と該スプリングプローブ（58）との間のスプリング力を維持するものである、工程と、を含む方法。